

自転車泥棒 (1948)

LADRI DI BICICLETTE
THE BICYCLE THIEF [米]
BICYCLE THIEVES

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イタリア
色彩 B&W
時間 88分
初公開日 1950/09/08
公開情報 イタリアフィルム＝松竹
リバイバル 1979/10 [I P]

【解説】

敗戦国の戦後のどん底を痛感させるネオレアリズモの秀作。思想風土の差はあれ同じような経験をした日本の映画がこの時期、民主主義礼賛の御用映画ばかりだったことを考えれば、芸術の独立性を保った当時のイタリア映画人の気質は見習うべきものがある。長い失業の末、映画ポスター貼りの職を得たアントニオは、シーツを質に入れ、代わりに仕事に必要な自転車を請け出し、六歳の息子ブルーノを乗せ町を回るが、ふとした隙に自転車が盗まれてしまう。それなしでは職を失う彼は、無駄と承知で警察に行くが相手にされず、自力で探すことにするが、ようやく犯人に辿り着いたところで仲間の返り討ちに遭いかけ、思い余って今度は自分で自転車泥棒を働くが……。教訓的という以上に感動的なラストにはやはりハンカチが必要な、デ・シーカと脚本家C・ザバッティーニの「靴みがき」に続く、素人俳優を用いたアクチュアルな映画作りの試み。悲痛な前作より日本人好みには合うだろう。

【クレジット】

監督	ヴィットリオ・デ・シーカ	Vittorio De Sica	
製作	ヴィットリオ・デ・シーカ	Vittorio De Sica	
原作	ルイジ・バルトリーニ	Luigi Bartolini	
原案	チェザーレ・ザヴァッティーニ	Cesare Zavattini	
脚本	チェザーレ・ザヴァッティーニ	Cesare Zavattini	
	スーゾ・チェッキ・ダミーコ	Suso Cecchi d'Amico	
	オレステ・ピアンコリ	Oreste Biancoli	
	ヴィットリオ・デ・シーカ	Vittorio De Sica	
	アドルフォ・フランチ	Adolfo Franci	
	ゲラルド・ゲラルディ	Gherardo Gherardi	
	ジェラルド・グエリエリ	Gerardo Guerrieri	
撮影	カルロ・モンテュオリ	Carlo Montuori	
編集	エラルド・ダ・ローマ	Eraldo Da Roma	
音楽	アレッサンドロ・チコニーニ	Alessandro Cicognini	
出演	ランベルト・マジョラーニ	Lamberto Maggiorani	アントニオ・リッチ
	エンツォ・スタヨーラ	Enzo Staiola	ブルーノ・リッチ
	リアネーラ・カレル	Lianella Carell	マリア・リッチ
	ジーノ・サルタマレンダ	Gino Saltamerenda	バイオッコ

